



あや

衆 報

NO. 118 平成24年1月1日

- 2 3 新春提言
- 4 5 年賀状
- 6 7 新屋振興会報告
- 8 9 新屋の活動
- 10 11 トピックス
- 12 13 新屋行事予定表

発行・新屋振興会 会長 藤澤 浩
 編集・新屋振興会広報部
 印刷・(株)全農ビジネスサポート秋田支店

安全・安心・福祉の 街を目指して



写真提供 原田 司氏

年頭あいさつ



新屋振興会
 会長 藤澤 浩

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

今年が皆様にとって、明るく希望に満ちた年になりますことを、心からお祈り申し上げます。

昨年三月十一日発生した、東日本大震災は、いまだ復旧・復興の目途さえ立たず、三十三万人余の被災者が、避難・転居の生活を余儀なくされております。

新屋では、平成十二年九月に、新屋地区自主防災協議会を結成し、現在二十三町内会が自主防災を組織しております。しかし、災害では、「自らの安全は、自分を守る。自らの地域は自らが守る。」が基本であります。災害に備え、自分や家族の防災対策、そして、隣り近所で声を掛け合って、防災体制の充実を日頃から心掛ける必要があります。町内毎の組織も結成しただけでなく、最低でも年に一度の防災・避難訓練を行うよう呼び掛けます。

今年の干支は、龍です。古来より架空の動物でありながら、龍神、水神と崇められ希望と信仰の対象とされてきました。龍にあやかり希望に満ちた年であることを祈り新年の挨拶いたします。

新春提言

昔の「あらかや」とこれからの「新屋」



新屋振興会 相談役

高橋 昌一

平成二十四年（壬辰）の元旦を迎えられました

新屋のみなさん

あけましておめでとございます

今年も、あらかや衆一丸となって地域の発展のため頑張ろうではありませんか。

さて、昨年は河辺郡新屋町が秋田市に合併（昭和十六年四月一日・一九四一年）して七十周年の節目の年でありました。

これを機会にNPO法人「新屋参画屋」が主催して昨年の十月下旬から十一月初旬に合併七十周年



昭和12～13年 表町通り
写真提供/カドヤ写真館

新屋 参画屋

記念行事として「パネル展」「学習会」「パネルディスカッション」を開催し、新屋を振り返り、学び

ながら、これからの街づくりについて呼びかけ郷土の歴史の意識の向上を喚起したイベントがありました。

さて、新屋の歴史を振り返ってみますと、明治二十二年（一八八九年）に市制及び町村制公布により新屋村となり、明治二十九年（一八九六年）六月一日に河辺郡新屋町となりました。

以来、幾星霜の歳月を経て七十年前の昭和十六年四月一日（一九四一年）に秋田市に合併になり今日に至っているであります。

このたびは、誌面の都合上明治時代からの郷土あらかやの歩みを記述させていただきます。

明治と元号が改元されたのが一八六八年九月で今から一四三年前であります。

明治元年八月の戊辰戦争（江戸幕府の味方となった奥羽二十五藩の同盟軍と秋田藩を主とする尊王派との戦い）で新屋が戦場となり

ました。明治七年（一八七四年）

七月七日に日新小学校が創立、同

年新屋郵便局が設置されました。

明治十一年「英雄」同十六年「謡

正宗」同二十三年「勝平」同四十

一年「国萬歳」同四十五年「黄金

井」がそれぞれ創業し湯沢と並び

県内二大銘醸地の一つとなりました。

明治三十八年、三十九年に新

屋浜海水浴場に高嶋海水館、蓬来

亭が設けられ県内一の海水浴場と

して隆盛を極めました。又明治九

年には秋田県養蚕試験場が設置さ

れました。

明治時代中頃の新屋町の人口は

四、二〇三名、戸数七二〇戸であ

りました。

大正六年（一九一五年）九月三

日雄物川改修工事の起工式、同八

年一月に電燈が全町に灯り、同九

年二月二十二日に羽越線新屋駅が

開通、同十三年新屋、秋田市間の

銀バスが運行開始しました。大正

末期の新屋町の人口は、五、二八

七名戸数九〇〇戸でありました。

昭和に入り旧秋田大橋が完工、国立新屋米穀倉庫設立（現在美術工芸短期大学一ももさだ棟）、雄物川放水路通水、東北振興パルプ株式会社秋田工場創業（旧十條パルプ棟）。

昭和の後半には県立秋田養護学校設立、県立新屋高校開校、県立



栗田養護学校独立、雄物大橋が開通しました。

平成（一九八九年）に入り秋田

公立美術工芸短期大学開学、新屋図書館新築開館、新秋田大橋開通、秋田南バイパス完成国道七号となる。西部工業団地誘致企業四十七社となりました。以上のように変わりゆく時代の中で、新屋衆は常に強い連帯に結ばれ、優れた生活文化を持つ郷土新屋の礎を営々として築いた先哲先人の偉業を偲びながら、新屋の歴史と伝統、そして史跡、神社仏閣、有形無形の文化財を、しっかりと守り続けて参りました。

私は『あらや衆報』No.106、

平成十八年一月一日号に前美短学長石川好氏の講演の一部を記述しました。「西部地域は全国的にも最も珍しい地域、小学校から大学まであるし、ほとんど全てがあると言っても過言ではない。周辺地域から通ってくる企業人四千人が働く西部工業団地もあれば、動物園・川・海もある。この小さい一

角にこれだけ資源が集まっているのは、日本中探しても、他にないのではないかと、石川氏が話されました。」

石川氏は新しい視点から様々なあらや地域の今まで手がかけられなかったことを示唆されました。秋田公立美術工芸短期大学が平成二十五年（二〇一三年）に四年制大学になるというニュースがあり、これを機会に西部地区を秋田市のカルチャータウンにへの発想も当然高まると思います。いずれにしても私たちは新屋の歴史と伝統文化を踏まえ、新屋らしい文化を築きあげることと、新屋らしい街づくりを再検討すべき時期が来ているように思われます。

今年こそ、次への繁栄への飛躍の年であることを念じながら所信の一端を述べさせていただきます。地域に輝きを求めましょう。

（平成二十二年十一月記す）

平成二十三年度

功 労 表 彰 者

次の方々が表彰されました
おめでとうございました
（敬称略）

◎秋田市社会福祉協議会表彰者
長年地区社会福祉協議会役員として社会福祉事業の推進に貢献し、その功績顕著なもの

- 石 澤 千 秋（比内町）
- 鈴 木 恭 治（沖田町）
- 佐 藤 真知子（愛宕町）

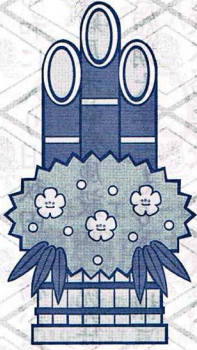
◎瑞宝双光章

- 警察功労
- 河 原 紀久男（田尻沢町）
- 和 田 勉（南団地）

◎瑞宝単光章

- 佐々木 知 子（比内町）
- ◎秋田県交通指導隊連合会長賞
- 七年以上勤続優良隊員

- 尾 形 益治郎（十條団地）



平成24年 謹賀新年



新年おめでとーございませう

いつも変わりなくご交遊下さり感謝致しております。昨年の暮れ、機会あって、日新の子の心に響く千人の大合唱、そして文化会館のステージで、きらめき合唱コンクールを見聞できました。一人一人が生きていきと輝き、ひたむきな姿に、大いなる感動をおぼえました。今年も強い絆で元気に頑張ろう！

平成二十四年 元旦

この街が好き！
秋田市議会議員 赤坂 光一

あけましておめでとう

新年のお喜びを申し上げます。皆様、この一年を健やかに過ごされますことを、心から、ご祈念いたします。

平成二十四年 元旦

秋田県議会議員
田口 聡

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新屋地区の皆様のご健勝と、ご多幸とお祈りいたします

平成二十四年 元旦

秋田市長 穂積 志

謹んで新春のお慶びを申し上げます

民生委員児童委員係
「わたくしたちは、すべての人々と協力し、明瞭で健全な地域社会づくりにつとめます」

安全・安心、住みよい環境の下、明るい街づくりに奉仕します

平成二十四年 元旦

新屋地区民生児童委員協議会
会長 森本 統 春
民生児童委員一同

あけましておめでとう

新屋にやさしい心が、満ちあふれますように

平成二十四年 元旦

新屋地区社会福祉協議会
会長 高橋 清

謹賀新年

当センターは、地域の方々に届けたい存在として、4年目を迎えることができました。これからも、地域活動の拠点施設として、大いにご活用くださるよう願っております。

職員一同、地域の一員として活動できるよう、また、より良い地域づくりの一端を担えるようますます努力してまいります。今年もよろしくお祈り申し上げます。

平成24年元旦

秋田市西郊市民サービスセンター
所長 木元 浩司

謹賀新年

旧年中のご愛顧に心より感謝申し上げます。本年も、地元商店会をお引き立ていただきますよう、よろしくお祈り申し上げます

平成二十四年元旦

新屋商店会 会長 齋藤 一郎

新年あけましておめでとーございませう

昨年度は私達市民憲章の活動に対し地元町民のご協力をいただきありがとうございました。本年も町民の皆様方のご理解ご協力をいただきながら活動を広げて行きたいと思っておりますので町民皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成二十四年 元旦

新屋地区市民憲章推進協議会
会長 鈴木 恭治

新春のごあいさつを申し上げます

本年も昨年同様皆様からのご支援をいただきながら活動してまいります。皆様にとって佳き年でありませうように

平成二十四年元旦

新屋婦人会 会長 佐藤 真知子

謹賀新年

東日本大震災からの速やかな復興を願いつつ
本年が良き年になりますように祈念申し上げます。
平成二十四年元旦

新屋郷土会

会長 高橋 陽之助
副会長 長 伊藤 進
事務局 長 赤坂 和紀

謹賀新年

新しい年が新屋にとって輝かしい年になることを祈念いたします。
私たちが秋田公立美術工芸短期大学の
教職員一同も、新屋の文化発展に寄与し、
新屋の名前を全国に広める決意です。
平成二十四年 元旦

秋田公立美術工芸短期大学

学長 樋田 豊次郎

新春のお慶びを申し上げます

地域の皆様には、本校教育活動への深いご理解とご支援を賜りまして、誠に有難うございます。昨年も、本校の各部活動は良い成績を収めることができました。これも、皆様からの温かい応援があったからこそ、感謝申し上げます。
本校は地元の高校として、力を注いでまいりました。本年も地域の行事を計画しております。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
平成二十四年 元旦
秋田県立新屋高等学校 校長 矢田邦晃

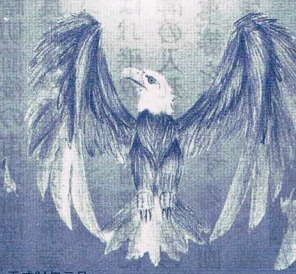
新春のお慶びを申し上げます

昨年は栗田養護学校の児童生徒・職員が地域の皆様方に応援していただいたことに心より感謝申し上げます。
本年も昨年同様変わらぬ御支援と御協力の程よろしくお願ひ申し上げます。
平成二十四年 元旦

秋田県立栗田養護学校
校長 小林敬一

あけましておめでとうございます

今年も子どもとともに 家庭とともに 地域とともに
『誇りと自信』の西中教育に全力を尽くします



平成24年元旦
秋田市立秋田西中学校 校長 石橋 英一

謹賀新年

日新小学校の九四九名の子どもたちは地域の皆様方の温かい手と優しい眼差しの中で、健やかに晴れやかに清々しい新年を迎えることができました。
本年も昨年同様、日新小学校への変わりぬご支援とご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

秋田市立日新小学校
校長 伊藤 崇二

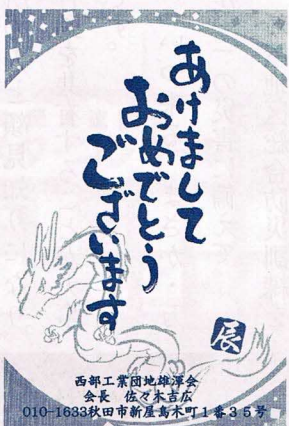
謹んで新年のご挨拶を申し上げます

日頃体育協会に對しましては格別なるご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。今年度は災害のない平和で明るい年でありますように祈念申し上げますと共に皆様の未永いご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。今年もよろしくご支援のほどお願ひ申し上げます。
平成二十四年 元旦

新屋地区体育協会
会長 塚田 敏春



あけましておめでとうございます



西郷工業団地緑澤会
会長 佐々木 吉広
010-1633秋田市新屋青木町1番35号

謹賀新年

あけましておめでとう、とやらを繰り返す「第三回新屋会VS土崎大綱引大会」が開催され、大変盛り上がりました。集え！若者たちよ、来るべき闘いに備え、今年も新屋会を盛り上げよう。現在新屋にお住いの方は、新屋出身の方で、体力、体重目標の方、体力にはまだ自信はない、思いをお持ちの方、私の仲間になってみませんか。
連絡先 028-3121
百三段新屋会
渡辺 寛

※これは、綱引対決を志した空想事業です。開催予定も確定していません。

謹賀新年

昨年中は皆様の多大なるご支援、ご協力を頂戴し、無事、巡幸で参りましたこと、誠に感謝申し上げます。
本年も会員一同力を合わせ、統制町南団地へお神輿を担ぐ所存でございますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。
平成二十四年元旦



頭領 植田 一

謹賀新年

新屋海岸線の松枯れを再生し、みどりを取り戻すための活動を行っておりますが、昨年も皆さまのご協力、植樹と植樹後の手入れを行う事が出来ました。
今年から、これからの新屋松林再生委員会から、NPO法人「松林・あらや」に名称を変え、新たにスタートすることになりました。今年度も枯れ松の伐採や植樹等の事業を推進してまいりますので、引き続き、新屋の皆さまのご理解とご協力を此からお願ひ申し上げます。
平成二十四年 元旦

特別非営利活動法人 松林・あらや
理事長 小野 良治
役員 一同

豊岩踏切の拡幅工事の完成について

新屋振興会 企画開発部 海 風 敏 夫

豊岩踏切は、西部工業団地には入りすぎる車輛数の増加、車輛の大型化に加え、駅東側の住宅の増加に伴い、交通量、歩行者、自転車乗りが多くなってきて非常に危険な状態のため、事故が起きてからでなく、事故が起きる前に拡幅工事の早期実施について、平成十三年に田尻沢町内会から新屋振興会を通じて秋田県に要望書を提出しました。

数年後には田尻沢町内会、沖田町町内会、高美町町内会、南団地町内会の四町内会の連盟で要望書を提出しましたが、着工について進展しないことから、新屋振興会から西部地区振興会連絡協議会に要望手続事務を移管しました。

この間、豊岩踏切のある道路が県道から市道に路線変更され、要望書の取り扱いが秋田市に移りました。

秋田市はすぐにJR東日本と数回の現地立会いを実施し、拡幅については基本的に可能であることを確認されましたので、踏切を含む用地境界確定作業を行うとともに、工事の支障となる埋設管等の移設協議も終了し、拡幅工事に向けての協定が平成二十二年十二月二十七日付けで締結となりました。

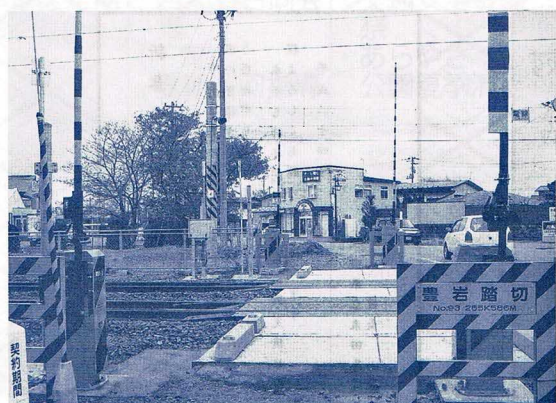
そして、平成二十三年十月十一日

に工事に着手し、車道幅員が七・七五mに歩道幅員が三・〇mに拡幅され、長年要望してまいりました豊岩踏切の拡幅工事が昨年十一月七日に完成しました。

地域の皆様には、工事期間中ご不便をおかけしましたが、工事実施にあたり、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後は、踏切前後の市道新屋渋谷線の道路改良工事を実施する予定であります。

具体的には、平成二十四年度に老朽化した側溝の入れ替え、歩道の整備、舗装工事等を実施する計画となっております。



▲拡幅された歩道

災害被害を防ぐには防災訓練と防災意識

新屋振興会 安全対策部長 横 山 茂

東日本大震災を教訓に、いま防災意識の徹底が叫ばれています。

秋田市から由利本荘市の沿岸に沿ってほぼ南北（三〇km）の海底には、地震空白域といわれている活断層があり、それを震源とする地震（M七・七）が想定されています。

こうした中、災害被害を防ぐためには、自分の身は自分で守るという意識が必要です。

安全な場所はどこか、避難場所はどこか、家族で日常話し合う事も必要です。

また地域で行われる防災訓練に参加して、となり近所の人と顔見知りになり、行動を共有することが大事です。

「いつ来る・まさか・万一」の災害に備えて。

新屋地区総合防災訓練を「自分たちの地域は自分たちで守る」基本を合言葉に

実施しています。

非常時に行き抜く力を養う場でもありますので、多数参加をして地域のみなさんで共有してもらうため、力を入れて取り組みをしていきます。

新屋には各種団体が多くあります。その団体と協力しあい安全・安心の街づくりに全力を挙げて参りたいと思います。



▲関町町内会防災訓練（平成20年10月）

「新屋振興会」ホームページ誕生

新屋振興会 総務部 高橋 伸

去年春頃、首都圏の新屋出身者の集まりである「新屋郷土会」から、新屋の様子を会員に紹介したいので、新屋振興会でホームページを立ち上げたかどうかという提案がありました。新屋振興会は、各町内から資金を頂いている団体でもあり、各部の活動状況など情報公開をする必要があることから、新屋郷土会の提案をきっかけに、去年十月ごろから制作に取り掛かり、十二月七日に立ち上げることができました。

また、将来性を考え、秋田市の地域づくり交付金を活用して、簡単更新システムへPC・携帯・スマートフォン対応版Vを導入しました。ホームページの内容は、新屋の祭りや四季折々の風景写真の紹介をトップに、新屋振興会各部の事業計画や進捗状況などの最新情報を掲示しています。また「あらや衆報」のバックナンバーも昭和三十一年の創刊号から現在



▲ HP アドレス : <http://araya-shinkoukai.com/>

新屋の松林に緑を取り戻そう

NPO法人 松林・あらや 副理事長 赤沼 侃

皆様方には、いつも植樹や草刈等にご支援いただき、誠にありがとうございます。お蔭様で新屋松林再生委員会は特定非営利活動(NPO)法人「松林・あらや」として認証・登記され、正式に発足しました。これを機に、今後の活動や問題点等をご報告申し上げます。

◇ 今春から更なる事業推進のため、当法人の会員を募集します。詳細は後日発表されますが、皆様には前述の諸問題をご理解いただき、奮って会員となり、一緒に問題に立ち向かい、汗を流し、新屋の松林に緑を取り戻そうではありませんか。よろしくお願い申し上げます。

◇ 先ず、新屋松林の特徴は、他の地域と違って全てが民有林であり、しかも保安林に指定されていることにあります。活動の殆どが地権者の同意と県の許可に縛られます。幸い、地権者の方々からは承諾を得られ、県からも快く指導・協力をいただいております。

次に、三四haと言われるこの広い松林再生には、億を超える資金が必要と試算されており、これをどう手当てしていくかの問題があります。

さらに、これまで手がけたのは1haにも満たない面積に過ぎず、このペースでは数十年に亘る超長期の事業となります。次の世代の育成と引継ぎも重要な問題です。

また、既に伐採した地域は日照が良くなり、クロマツやカシワが自生してきていますが、所構わず生えて



▲ 植樹会場の下刈り (昨年10月)



子供見守り活動六年

新屋地区子供見守り隊世話人 中津川 正次郎

「地域と学校が連携した安全対策の話し合い」が当時の伊藤敬二日新小学校長の呼びかけで行われたのは、平成十七年五月十一日のことでした。

話し合われた内容は①地域団体の安全対策活動について②日新小学校安全対策委員会の設置と組織について③地域安全パトロール隊による巡回活動について、でした。話し合いに

参加したのは、日新小PTA、新屋振興会、新屋交番、地域関係各団体等の代表者で、組織名を「日新小学校安全対策懇談会」として、活動の

実施に取り組むことにしたのでした。しかし、「新屋地区子供見守り隊発足についての説明会」が開かれたのは翌年の四月十五日のことです。「隊」

の発足を確認するとともに、見守り地点、見守り時間、担当する班を決定して一歩を踏み出したのでした。

一年近くの実施の遅れは、未経験のことをはじめの不安「子供達や見守る人達にもしもの事故が起こった

らどうするか」という気持の克服でした。因みに、見守り地点は通学路の主要な場所とし、班の構成は見守り地点に近い町内会の人達がメンバーになりました。

事前の周知が不十分だったことも

あって、子供達も地域の人達も、見守りに立っている人達が何者なのかを疑う人もあり、「子供見守り隊って何？」という風でした。

しかし、「継続は力なり」です。子供達も親達も、そして地域の人達も、子供見守り隊の活動を確認してくれるようになりました。

思えば昨年三月十一日のあの東日本大震災の日、強風雪と地震の中に立つ私達への子供や親達の態度を忘れることができません。

「子供見守り隊は信頼されている！」という実感は何物にも替え難い誇りとして心に残っています。さて、子供見守りの活動も新学年から

七年目に入ります。高齢化が進む中でこの活動を続けることはたやすいことではありませんが、各町内会が

「地域安全安心」の担い手として取り組み続けるならば、その成果に勝るものはないと私は確信しています。



下校時における見守り活動

ある日の新屋参画屋活動

新屋参画屋 理事長 富野 昭雄

驚天動地とは、まさに三月十一日発生した大震災の事だろう。折りしも新屋参画屋では「参画ケイカン」のイベントが行われていた。強い揺れと同時に停電が発生、電話も使えず自宅の状況や、家族の安否すら取れない状況が続き、電気に頼りつ放しの現代社会の脆さを露呈した。

秋田は、何ら被害を被る事が無く済んだ事大変幸運だったと思わざるを得ない。勿論イベントは中止となり又の機をみる事にした。

慌しく過ぎる月日のなかで、昨年、新屋町が秋田市に合併してから丁度七十周年を迎えたことを思い出した。昭和十六年四月一日の祝賀を仰ぎ、最後の町長・辻永佐藤治翁の祝辞を

読み返し、改めて地域と人間の係わりに想いを馳せるべきと考えイベントを企画する事にした。「新屋町・秋田市合併七十周年記念展」を十月

二十二日から十一月六日までの期間参画屋、渡幸を主会場にカドヤ写真館、日吉写真館所蔵の新屋にあった

旧建物の貴重な写真を展示説明。学習会では愛宕地藏堂を会場に新屋の歴史を学んだ。イベントの総仕上げはウェスターでパネルディスプレイ

ション。

高橋昌一氏、藤澤振興会長・赤坂議員にパネラーになって頂き開催。何れの会場においても参加された皆様からは高評価が得られた。

過去を振り返った時多くの産業が消えていった事を知る。中でも、うどん、白玉は県内でも屈指の生産量を誇ったと言われている。折も折「B級グルメ」なる地域限定食が全国で

人気を集めている。一昨年の事になるが当時美短の学生が「しょつづる鰻鮎」を提案し試食した事がある。塩魚汁発祥の地新屋から鰻鮎とのコラボとしてもいける気がする。かつてあった物から、新しい提案は的を得ている。新屋参画屋は、地域活性化を目標に各団体の参加により設立

された。これからも幅広い皆様からの応援を期待しながら活動を続けたい。



情報発信の参画屋

鹿嶋祭りの継承・発展を期して保存会発足

新屋鹿嶋祭保存会・総務 藤 枝 隆 博

十一月二十日、「新屋鹿嶋祭保存会設立総会」が新屋の町内会長、保存会会員など約五十名を集め日吉神社会館において開催されました。新屋町の「鹿嶋さん」は、子供らの健やかな成長を願い、家内安全、無病息災を祈り行われてきました。「他の町内の鹿嶋船を見ることができないのは残念」「伝統行事を新屋の観光資源として活性化できない」「子供たちの鹿嶋の歌が聞こえない」「太鼓の音やリズムが町内会によってマチャチ。正しく教えていく必要があるのでは」など鹿嶋祭りに対するご意見、ご指摘がありました。

鹿嶋祭りの伝統を後世に正しく伝えるため「新屋鹿嶋祭保存会」を発足させました。準備にあたったのは十篠団地、下表町、笹町、緑町、大川町の五町内会と日吉神社石澤宮司、日吉神社責任役員などのご尽力をいただきました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

保存会の会則には「文化財愛護精神に基づき、新屋の伝統行事である新屋鹿嶋祭の調査研究、保存顕彰並びに継承者の育成を目的とし、永く正しくこれを後世に伝承することを目的とする」と明記。「鹿嶋祭の保存及び伝承、調査、研究に関するこ

と」を事業の柱としながら、「事業部」「広報部」「調査研究部」「実技部」「製作部」の五部会が課題別に活動を担っていくこととしています。

総会では「鹿嶋祭写真展示会」「鹿嶋祭の昔と今を語る会」「鹿嶋祭の歌と太鼓のお囃子教室」など行っていくことを確認すると同時に、保存会の「会員拡大」を図っていくことにしました。現在二十町内会、四十四名の個人会員で発足しましたが、保存会の活動を支えていく熱き人材を募集しております。保存会では、会員の募集を積極的にすすめていくことにしています。

鹿嶋祭保存会会員には伊藤富美雄さん（大川町）が初代会長に就任し、日吉神社、各町内会代表の皆さんから副会長、理事、監事など就いていただきました。

子供たちの「シヨツ、シヨツ、シヨツ」の元気な声と太鼓の響きが鹿嶋船を引っ張り、初夏の新屋の町並みを練り歩くことでしよう。



十年目を迎える「あらや大川散歩道雪まつり」

十周年記念あらや大川散歩道雪まつり
実行委員長 富田 連（十條団地町内会）

発端は雪が降る日の十條団地町内会有志の宴席での一言であった。「この雪と散歩道を活かして何かできないか」・・・次の日の午後、バケツとスコップなどを持ち寄り、宴席で空になった一升瓶を使い、ミニかまくらづくりが始まった（約五百個製作）。夕方点灯。大川散歩道の桜の木々とミニかまくらの灯のコントラストが幻想的であった。PRは特にしなかったが意外と多くの方々が見てくれていて反響は大きかった。このプレの翌年、平成十五年に十條団地町内会で実行委員会を組織して第一回を開催。このスタートから回を積み重ねて早いもので十年目を迎えようとしています。

二回目以降、隣町内会（中表町・下表町・大川町・新屋駅前町）とそ

の子ども会、秋田公立美術工芸短期大学・学生会、近隣幼稚園、新屋南やまはげ会も参加し、準備と盛り上げに協力いただいております。新屋の冬のイベントとして徐々に定着してきています。

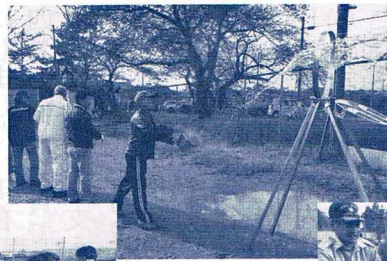
十年目を迎える今年は、新たに六町内会（緑町・北新町・関町後・比内町・沖田町・田尻沢）が加わり、さらに連携の輪が広がってきました。秋田市の補助金交付も決まり、今までの事業内容を更にボリュームアップさせる他、光の演出やイベント、屋台など十年目を記念にした開催にしよう、実行委員会では計画中です。昨年三月十一日の東日本大震災。いまだにその収束や改善の方向性を見出せずにいる状況です。「がんばろう！東北」をこの十周年記念開催の合言葉に掲げながら、実行委員一同頑張っておることであります。乞うご期待！当日はぜひ大川散歩道に足をお運びください。そして、新屋の冬のイベントを盛り上げてください。参加と観覧をお待ちしています。

10周年記念 **あらや大川散歩道**
雪まつり
 開催日：平成24年1月28日(土)
 午後2時～午後8時
 会場：JR新屋駅～大川散歩道
 ～公立美術工芸短期大学
 サークルプラザ



新屋地区 防災訓練の実施

新屋地区自主防災協議会主催の防災訓練は十月十六日午後一時より、西部グラウンドで開催されました。この二年間、悪天候で中止しておりました。今年も時折雨の悪天候ながら、各町内から子供さんも含めて二〇八名の方々に参加して頂きました。当日は、日赤秋田支部、赤十字奉仕新屋分団、秋田市消防新屋分署、秋田市防災対策課の方々にご協力をいただき、非常食の炊出しや救急救命、ロープ結び等の実演、消火バケツリレー、オイルパンによる初期消火の訓練等の実地体験を行いました。最後に防災クイズを行い、秋田市から提供された備蓄保存用食品を景品として参加者全員に持ち帰って頂き、四時過ぎに終了しました。



敬老会

昨年の九月十八日、三九九人の出席のもと敬老会が開催されました。

当日は大雨。そんな天気をもとせず、敬老者と思えない若々しい方々が次々とおいでになり、一年ぶりの再会に笑顔で歓談していらっしゃいました。

浅野梅若社中のアトラクションで盛り上がり、飛び入りのカラオケへと進み、お酒もはいり和やかな雰囲気の中、残念ながら閉会の時刻になりました。

楽しい時間は過ぎるのも早く感じます。

今年も、楽しい敬老会にしたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



ウエスタターの催し

「ウエスターまつり」と

「太鼓フェスティバル」開催

「ウエスターまつり」は九月二十三日から二十五日までの三日間、行なわれました。この行事はウエスターを利用する西部地域の各サークルの人たちが一年間の成果を発表するもので、今回で三回目を迎えました。

発表会は、展示部門と芸能部門が中心となり、そのほか、ダンスパーティーやお茶会、生涯学習相談コーナー、縁日、軽食コーナー等もあり、それぞれのコーナーで賑わっていました。文化講演会も行われ、日頃習ってきた腕前は、どのサークルも素晴らしいものばかりでした。三日間で一八〇〇人余の来場者で賑わい、盛況裡に終了しました。

また、十一月十三日には「太鼓フェスティバル」が開催され、西部地域の太鼓による演奏や、躍りの披露があり、四三〇人の人が素晴らしい演奏を堪能しました。新屋からは、日新小学校太鼓により「日新太鼓」と「新屋囃子」が披露され、大喝采を

トピックス

町民大運動会の更なる充実を目指して

新屋地区体育協会 会長 塚田 敏春

昨年は、三月十一日に発生した東日本大震災により多くの方が被災され、複雑な気持ちの中で開催した第四十四回新屋町民大運動会は、前日の準備の最中に雨に降られ、途中で何回か休憩しながら進め、夕方には何とか計画通りに当日に向かうことができました。当日も朝のうちは不安もありましたが、徐々に天候も良くなり、久しぶりの運動会日和になりました。

各町内の皆さんも早くからテントを張るため集まってきて、思い思いに控え所の設営をし、舞台は整ったのであります。

九時ののろしと共に、運動会は開催され、順調に競技も進んでいきま



した。午後三時にすべての競技が終了し、大イベントも終わりを告げ、沖田町が第三十九回大会（平成十八年）以来の優勝の栄誉に輝いたのであります。その後の反省会で各町内からいろいろなご意見もいただきました。それぞれの町内のご事情もあるようですが、できるだけ叶えたいと思います。しかし、皆様と共に少しずつ改善していきたいと思っておりますので、これからも多くの方に参加していただき、ご意見を頂戴したいと考えておりますので、今後ともよろしくご参加下さいますようお願いいたします。



浴びておりました。

この事業は、西部地域の地域間・世代間交流事業の一環で、今回が二回目になります。

二つの事業とも「西部地域住民自治協議会（新屋、勝平、下浜、豊岩、浜田の五地域で構成）」が主催して推進しております。



ウェスターまつり展示会場風景

第2回 地域間・世代間交流事業
ウェスター太鼓フェスティバル



日新小の演奏風景

ウェスター太鼓フェスティバル



町の行事予定表

【あ ら や 衆 報 編 集 部 編】

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(上旬) ・理事会 (中旬) ・役員、理事、 評議員協議会	・23年度国・ 県・市に対す る要望事項の とりまとめ	(1日) ・あ ら や 衆 報 発 行第 119 号 (下旬) ・町内会長理事 連絡協議会	(中旬) ・町内会長研修 会 第 11 回新屋 地区自主防災 協議会総会と 防災講演会	(上旬) ・三役・各部長 事務局会議	(下旬) ・第 11 回新屋 地区防災訓練 (下旬) ・23 年度除排 雪問題懇談会	(中旬) ・三役事務局会 議 町内会長研修 会
(中旬) ・新屋地区定期 総会	(上旬) ・四部会合同会 議 (下旬) 夏期巡回指導	(上旬) ・交通安全祈願 祭 ・あ ら や さ く ら 公園夏季清掃	(上旬) ・声かけの実践 活動 (中旬) ・役員会議	(下旬) あ ら や さ く ら 公園秋季清掃	・新屋郷土文化 講演会 (上旬) 声かけの実践 活動	(中旬) ・役員会議
・新屋地区ひとり 暮らしの皆 さんとの集い	・新屋福祉大会 ・他市町村との 交流研修会・ 施設めぐり の研修会等	・施設訪問 ・「福祉新屋」 第 72 号発行	・敬老会	・赤い羽根共同 募金運動	・ふれあい弁当	
← 三役会議・役員会・月例会	← 専門部会研修会随時開催					→
・春季ソフトバ レーボール 大会 ・秋田市フロア カーリング あきた大会	・壮年ソフト ボール大会 ・全市一斉ラジ オ体操のつ どい		(第 2 日曜日) ・第 45 回新屋 町民大運動会 (予備日) (第 4 日曜日)	・町内対抗秋季 家庭バレー ボール大会 ・ミニテニス大 会	・秋季ソフトバ レーボール 大会 ・秋田市フロア カーリング あきた大会	
← 運動会準備						
・会員遠足大会 ・保健推進委員 会総会	・市婦連体育会	・花火大会出店 ・きずな発行 ・県婦連大会参 加	・敬老会協力 ・文化教室	・赤い羽根共同 募金 ・献血運動協力 ・健康講和会	・ふれあい弁当 (75才以上1人暮らし) ・栄養食調理実 習	・市婦連大会 ・施設慰問
・県子連表彰式 の出席 ・西部地区市子 連総会	(上旬) ・役員会	・夏休みの反省 ・世話人会 日新小担当先 生を入れて ・自然観察 ・地引網 ・よちやこの燈 ろう取付展示		・三役会議	・東北研究大会 参加 (第 2 週土・日)	・西部地区会長 会議
第 2 日曜日 ・鹿嶋まつり (当番町：緑町)		1 日 ・栗田神社祭 10 日 ・雄物川花火大 会 ・打ち水		・新屋地区親睦 ゴルフ大会	26 日 ・新嘗祭 ・沖田町イルミ ネーション 点灯 (11月20日～12月25日)	

平成 24 年 あ ら や

【保 存 版】 —— 貼り出してご利用ください ——

団体	月別	1月	2月	3月	4月	5月
新屋振興会	(1日)	・あらや衆報発行第118号 ・新屋町新年会	(上旬) ・新屋松林再生委員会 (下旬) ・三役・事務局会議	(中旬) ・役員、理事、評議員会	総会(上旬) ・新屋松林再生委員会(随時) (下旬) ・三役事務局会議	(中旬) ・役員理事会
	市民憲章			(上旬) ・新屋地区第25回囲碁・将棋大会 (下旬) ・役員会議	(上旬) ・苗木仕訳配布作業 ・声かけの実践活動 (中旬) ・あらやさくら公園春季清掃	(中旬) ・役員会議 4月(下旬) ・緑の羽根の配布 ・観桜会の出店
新屋福祉協		「福祉新屋」第71号発行		・ふれあい弁当	・総会	・日赤社資・社員増強運動 ・ふれあいさろん3月まで毎月1回実施
民児協					・新屋地区民生・児童協議会総会	・秋田市民生・児童協議会総会
← 毎月・見守りネットワーク事業・見守り世帯1人暮らし老人世帯巡回相談(民生委員) →						
新屋体育協	(下旬)	・ニュースポーツ大会 新春フロアカーリング交流大会	・西部地区指導者研修会	・役員会	・理事会 ・日新小学校開放事業管理者指導 4月～11月	・グラウンドゴルフ大会 ・総会 ・新屋地区野球大会
新屋婦人会			・栄養食調理実習	・ふれあい弁当(75才以上1人暮らし) ・ふれあい弁当(80才以上夫婦2人暮らし) ・きずな発行	・委員総会 ・観桜会出店	・日赤募金
← ふれあいサロン共催 →						
子ども育成協	(下旬)	・冬休みの反省 ・世話人会 ・子供会もちつき たこ作り大会	・秋田市表彰式	・役員会	・会計監査 ・役員会 ・世話人会	(上旬) ・新屋子ども育成連絡協議会総会
祭事・その他	(元日)	・歳旦祭 (1月28日(土)) ・第9回あらや大川散歩道雪まつり			(下旬) ・4月13日祈年祭 ・大川端観桜会(あらやさくら公園)	・全県中学校野球新屋大会 ・新屋地区親睦ゴルフ大会 25～26日 ・日吉山王祭(統前町・南団地)

明日の空気を変えていく



YUTAKA

土木工事一式・環境整備事業
豊興産株式会社

代表取締役 石 黒 望

〒010-1637 秋田市新屋扇町12番49号
☎ 828-4611(代) FAX 828-3373

灯 油 のご用命は
ガス器具

電 話 (828) 4 5 1 4 (代表)

F A X (828) 4 5 1 5

秋田市新屋大川町5-9

日新プロパン株式会社

三浦歯科医院

三 浦 捷 也

秋田市新屋元町 22 の 34

☎ 828-2109

堀部歯科医院

歯科、矯正歯科、小児歯科



堀 部 真 知 子

秋田市新屋表町11番3号

☎ 828-4323

小児歯科・一般歯科

くまがい日吉歯科医院

小児歯科学会認定専門医

院長 熊 谷 仁 志

秋田市新屋町字関町後205-1(県住通り)

TEL 828-5582

内 科 ・ 外 科

一 戸 医 院

月曜から金曜 午前 9:00~午後 6:30
土 曜 午前 9:00~正午まで

☎ 828-2221

秋田市新屋大川町 9 番 7 号
美術工芸短大入口・バス停前

2歳の春から
新屋幼稚園へ

家庭的な雰囲気
で
お子様をお預かりします。

新屋扇町 4-27

TEL 828-2119



編集後記
☆紙面の刷新に取組み、A4版にてお届けいたしました。新時代の流れを掲載する「あらいや衆報」保存するには便利になったと思います。
昨年(2012年)の三・一一未曾有の東日本大震災等身がつまされる年でありましたが、今年こそは、市民の皆様にとりまして安全・安心、そして「絆」で結ばれた明るい年でありましょう。ご祈念申し上げます。ご協賛並びにご多忙の中、玉稿をお寄せ下さいました各位に厚くお礼申し上げます。
(森本記)

おかげさまで25周年

排水管を壊さずに解消



トイレ、流し、浴室等の
パイプつまり直し
住宅、ビル屋内外排水詰り
高圧洗浄

見積り無料

困ったらすぐお電話下さい。



(有) **デオックス**

☎(018)828-7791
秋田市新屋町字田尻沢30-13

秋田でも
電気代 **0円** は可能!
『一生電気代を払い続けるよりお得です』
太陽光発電 発電量・見積り
無料シミュレーション 受付中
多くの方から「試してみて良かった」と評価をいただいています。

株式会社
オノプロックス ONOPROX
〒010-1637
☎018-828-2108 秋田市新屋扇町7-41

安心サポート
新屋不動産

〒010-1637 秋田市新屋扇町7-41
オノプロックス内
TEL 018-888-8844
FAX 018-888-8845

在宅介護
やさしい手

HAND TO HEART

新屋表町4-3 (旧石忠老舗)
☎ 8 2 8 - 8 8 1 2

住まいの相談所 OPEN!!

ワタケン

新屋大川町20-40
TEL 865-2363



電気設備工事・設計施工

株式会社 加島電気工事

代表取締役 加島 和子
秋田市新屋元町5-4 TEL 018(828)3118(代表)
FAX 018(828)1539

秋田大橋のたもと

ALDZ
創業1960年

新屋石油(資)
828-4125
ガソリンスタンド
自動車整備工場

カーコンビニ倶楽部 小玉自動車

民間車検工場、全労済指定工場、車検、钣金塗装
良い設備、すぐれた技術、まごころサービス
秋田市新屋扇町7-8 **828-5645(代)**

より確かな、安全のパートナー

DENYOSHA

株式会社 電洋社

代表取締役 八代 千秋
〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-76
TEL 018-888-9200
FAX 018-828-9212
URL <http://www.dys.co.jp>

水まわりのご用命は当社へ

秋田市指定工事業者

吉田ビニール(株)

秋田市新屋鳥木町1番46号 西部工業団地内
TEL 018-828-2811
FAX 018-828-2817

「創造と開発と・・・」
私たちのモノづくり理念です。

光道

株式会社 道光産業

サッシ工事
外装、内装パネル
工事
手摺り及び建築板
金、金物、製作一
式

〒010-1633 秋田県秋田市新屋鳥木町1-47
TEL 018-828-8111
FAX 018-828-8100
URL <http://www1.ocn.ne.jp/~doko/>

ISO 9001 認証取得

FMT 高白色度を誇る
炭酸カルシウム製造

株式会社 **ファイマテック**
秋田工場

代表取締役 片山 正人

西部工業団地 秋田市新屋鳥木町1-34
TEL 018-828-0171
FAX 018-828-0173

品質・衛生・食味・食感・風味を
大切にした「そば粉」「諸越粉」

富士製粉産業株式会社
直営そば処「挽きたて、打ちたて、茹でたて」

司 こなや

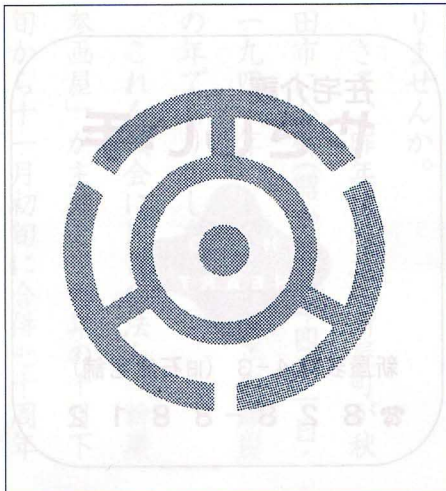
秋田市新屋鳥木町1番62号
TEL 018-828-5701 司こなや
FAX 018-828-0515 TEL 018-828-8856

農薬・肥料・農業資材・種子
無人ヘリコプター

小泉商事株式会社

秋田中央営業所

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-136
TEL 018-888-8811
FAX 018-888-8666



水と緑に囲まれた
芸術キャンパスのある街

新屋商店会

会長 齋藤 一郎

秋田名物しょつつる醸造元

佐藤佐七商店

秋田市新屋表町4-28
☎828-2236

富野精肉店

秋田市新屋表町 6 の 15
☎ 828-4118

いい暮らし届けたい



ナイス新屋店

☎ 018 (828) 6911

和洋菓子の渡勇菓子舗

新屋元町15-5
☎ 828-4103

森永牛乳新屋販売店

大 山 淳
新屋高美町 6 - 8 ☎828-5503
FAX828-5226



比内地鶏専門店

秋田市新屋元町14番26号
TEL・FAX (018) 828-4025



有限会社

秋田魁新報新屋専売所

秋田市新屋元町13の29 電話(828)4102
フリーダイヤル0120-60-4102

日替弁当・大小宴会(30名様迄)承ります。

楽亭 すずらん

新屋元町桜並木通り ☎828-3233

— 買物は新屋地区の商店街から —

暮らしの応援団！地元の専門店が一番

《肉の南波・文具は渡金
写真はカドヤ・クリーニングの栗田》

新鮮なネタが自慢 宴会場あり20名様まで

小料理 栄 月

新屋元町 19-10
TEL 828-4658

◎日新小 ↑県住

(828)3121
☆渡金商店

(828)3113 ◎栗田神社
☆カドヤ写真館

☆南波肉店
(828)4025

旧西部公民館跡



栗田クリーニング
(828)3636

醤油・味噌・しょつつる



秋田市新屋元町14-10 ☎828-2102



きりたんぼセツ 秋田市新屋元町9-3
TEL 018-828-3823
だまこもち FAX 018-828-3824